

主な医療機関
北多摩西部

	医療施設名	プラン策定対象
5	国立病院機構村山医療センター	○
6	武蔵村山病院	

	医療施設名	プラン策定対象
4	東大和病院	○



	医療施設名	プラン策定対象
1	国家公務員共済組合連合会立川病院	○
2	国立病院機構災害医療センター	○
3	立川相互病院	

凡例

- ☆ 特定機能病院・救命救急センター
- 特定機能病院
- 救命救急センター
- その他（一般300床以上、プラン策定対象病院）
※病床は許可病床数

<2025年の医療需要>

機能 (医療資源投入量)	高度急性期機能 (3,000点~)	急性期機能 (600~3,000点)	回復期機能 (175~600点+回リハ)	慢性期機能 (~175点)
患者数	446(人/日)	1,394(人/日)	1,308(人/日)	921(人/日)
病床数の必要量	595(床)	1,787(床)	1,453(床)	1,001(床)

<平成28年度病床機能報告>

機能 (自己申告)	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
病床数	1,435(床)	1,395(床)	592(床)	1,133(床)
病床稼働率	97.2(%)	79.8(%)	90.1(%)	93.4(%)
平均在院日数	9.3(日)	12.1(日)	61.8(日)	81.3(日)

<平成29年度までの調整会議における議論の到達点>

地域の特徴

- 急性期機能及び回復期機能の病床稼働率が低い
- 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合が高い
- 急変時対応を求める地域の診療所の声

課題

- 地域内での連携を深め、入院・退院調整を円滑に進めていくための取組が必要
- 地域の中で在宅患者を支えるため、病院・診療所間の連携・支援の取組が必要

解決に向けたキーワード

- 後方支援 ○ICT・ネットワーク化

<地域医療構想推進事業>

地域医療構想推進事業を活用して整備された病床(カッコ内は補助対象病床)

	病院名	所在
1	昭島病院	昭島市
	地域包括ケア病床（34床）	

<プラン策定対象病院>

		病院名	所在区市	特定機能病院	地域医療支援病院	指定状況										平成28年度病床機能報告における病床数					将来的に目標とする病床数														
						救命救急センター	こども救命	指定二次救急医療機関	小児救急医療機関	災害拠点病院	CCU医療機関	脳卒中	t-PA	がん	小児がん	周産期センター	周産期連携病院	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等								
65	北多摩西部	1 国家公務員共済組合連合会立川病院	立川市		●			●	●			●	●											387	43					372	40				
66		2 独立行政法人国立病院機構災害医療センター	立川市		●	●			●	●	●	●	●												458						455				
67		3 東大和病院	東大和市		●				●	●	●	●													284						254	30			
68		4 村山医療センター	武蔵村山市																								139	164					143	160	

※CCU医療機関:東京都CCUネットワーク加盟施設 / 脳卒中:東京都脳卒中急性期医療機関 / t-PA: t-PA対応可能施設 / がん:都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、東京都がん診療連携拠点病院 / 小児がん:小児がん拠点病院、東京都小児がん拠点病院 / 周産期センター:東京都総合周産期母子医療センター、東京都地域周産期母子医療センター / 周産期連携病院:周産期母子医療センターと連携の下、ミドルリスクの妊産婦に対応する病院
 ※将来的に目標とする病床数は、「公的医療機関等2025プラン」に記載された2025年度の機能別病床数を指す。ただし、公立病院及び公社病院については、「平成29年度病床機能報告」で6年後の病床数として報告された数字としている。